

平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会 第1回スポーツ部会議事録

1 日時：平成28年7月22日（金）13：30～16：30

2 場所：千葉市議会棟3階 第2説明員控室

3 出席者：

（1）委員

横山 清亮委員（部会長）、織戸 正道委員（副部会長）、内山 英昭委員、
小川 直哉委員、谷藤 千香委員

（2）事務局

丸島生活文化スポーツ部長

青木文化振興課長、渡邊文化振興課長補佐、吉野主査、工藤主任主事、

須藤主任主事

安藤スポーツ振興課長、山崎スポーツ振興課長補佐、笠井主査、草場主任主事、
常泉主任主事、白田主事

4 議題

（1）平成27年度における指定管理者の指定結果について

（2）平成27年度に指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市大宮スポーツ広場

イ 千葉市宮崎スポーツ広場

ウ 千葉ポートアリーナ

エ 千葉アイススケート場

オ 千葉市民ゴルフ場

（3）その他

5 議事概要：

（1）平成27年度における指定管理者の指定結果について

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会の平成27年度における
指定管理者の指定結果について、事務局から報告した。

（2）平成27年度に指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市大宮スポーツ広場

平成27年度に千葉市大宮スポーツ広場の指定管理者が行った施設の管理に係
る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての
意見を取りまとめ、決定した。

イ 千葉市宮崎スポーツ広場

平成27年度に千葉市宮崎スポーツ広場の指定管理者が行った施設の管理に
係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会として

の意見を取りまとめ、決定した。

ウ 千葉ポートアリーナ

平成27年度に千葉ポートアリーナの指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

エ 千葉アイススケート場

平成27年度に千葉アイススケート場の指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

オ 千葉市民ゴルフ場

平成27年度に千葉市民ゴルフ場の指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(3) その他

今後の予定について、事務局から説明した。

6 会議経過：

○渡邊文化振興課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきまして、どうもありがとうございます。

それでは、定刻になりましたので、平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回スポーツ部会を開会いたします。

本年度から、スポーツ部会の会議の運営につきましては、市民総務課に代わりまして文化振興課が事務局担当となりましたので、よろしくお願ひいたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます文化振興課の渡邊と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。

傍聴人の皆様におかれましては、傍聴人要領に記載されている事項を遵守されるようにお願いいたします。

なお、本日は、夏期節電及び地球温暖化防止の一環として、職員は軽装とさせていただいておりますので、ご了承ください。

それでは、委員の方のご紹介ですが、お手元のファイルの中の資料2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会委員名簿」をご覧ください。前回の部会から変更はございませんので、こちらの委員名簿によりご紹介に代えさせていただきます。

続きまして、事務局の職員を紹介いたします。

生活文化スポーツ部長の丸島でございます。

スポーツ振興課長の安藤でございます。

文化振興課長の青木でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、開会に当たりまして、生活文化スポーツ部長の丸島からご挨拶を申し上げます。

○丸島生活文化スポーツ部長 生活文化スポーツ部長の丸島でございます。本日は、委員の皆様方、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

また、昨年度は、本年度から始まります指定管理者の選定にご尽力いただきまして、ありがとうございます。本年度から指定管理者が代わった施設もございますが、4月以降、滞りなく事務手続を行いまして、現時点まで順調に施設が管理運営されていることをまずご報告させていただきたいと思います。

本日は、それ以外の指定管理者が代わらなかった施設についての27年度の評価でございます。大変お忙しい中、恐縮でございますが、本日はよろしくお願ひいたします。

○渡邊文化振興課長補佐 それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、机の上にございます「次第」、「席次表」でございます。

続きまして、会議資料一覧に沿って確認をさせていただきます。お手元のファイルをお開きいただきまして、資料1が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回スポーツ部会進行表」、資料2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会委員名簿」、資料3「平成27年度における指定管理者の指定結果について」、資料4-1から4-4は、「千葉市大宮スポーツ広場」の平成27年度評価に関する資料で、4-1が「指定管理者評価シート」、4-2が「事業計画書」、4-3が「事業報告書」、4-4が「計算書類等」でございます。資料5は「千葉市宮崎スポーツ広場」、資料6は「千葉ポートアリーナ」、資料7は「千葉アイススケート場」、資料8は「千葉市民ゴルフ場」に関する資料でございまして、枝番号の1から4につきましては、先ほどの資料4の「大宮スポーツ広場」と同様となっております。

続いて、参考資料ですけれども、参考資料1「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、参考資料2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」、参考資料3「部会の設置について」、参考資料4「スポーツ部会で審議する公の施設一覧」、参考資料5「千葉市情報公開条例及び施行規則抜粋」でございます。

以上をお配りしております。不足等ございましたら、お知らせいただければと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日は、すべての委員さんがご出席となっておりますので、「千葉市公の施設に係る指定管理者選定等に関する条例」第11条第7項において準用する第10条第2項に基づき、会議は成立しております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

これから議事につきましては、進行を横山部会長にお願いしたいと存じます。

よろしくお願ひいたします。

○横山部会長 早速ですけれども、次第に従いまして、議事進行してまいります。ご協力のほど、よろしくお願ひします。

始めに、議題1の「平成27年度における指定管理者の指定結果について」に入らせて

いただきます。事務局よりご説明をお願いします。

○青木文化振興課長 それでは、議題1についてご説明をさせていただきます。座って説明をさせていただきます。

資料3「平成27年度における指定管理者の指定結果について(スポーツ部会所管施設)」をご覧ください。昨年度、このスポーツ部会におきまして、1「大宮スポーツ広場」、2「宮崎スポーツ広場」、3「ポートアリーナ」、4「こてはし温水プール」、5「スポーツ施設、都市公園施設、花島コミュニティセンター」の5件、39施設の指定管理予定候補者の選定を行っていただきました。施設ごとの指定管理者名、選定理由、附帯意見は記載のとおりでございます。

非公募の3施設のほか、公募で申請を受け付けた「こてはし温水プール」は4団体から、「スポーツ施設、都市公園、花島コミュニティセンター」は2団体からの申請があり、採点の結果、記載の指定管理候補者として選定させていただきました。

資料をおめくりください。資料3-1から3-3までの資料は、このスポーツ部会で決定いただいた内容の評価委員会会長への報告と、会長から市長への答申になります。資料3-1は、非公募で選定した「大宮スポーツ広場」、2「宮崎スポーツ広場」、3「ポートアリーナ」、資料3-2は「こてはし温水プール」、資料3-3は「スポーツ施設、都市公園施設、花島コミュニティセンター」のものになります。

この答申を受けまして、市のほうで指定管理予定候補者を決定し、仮協定を締結して、協議を開始いたしました。昨年11月27日に開会した平成27年第4回定例会に指定議案を提出し、所定の審議を経て、12月16日に原案どおり可決され、その後、基本協定を締結し、本年4月1日から指定管理業務を開始しております。

なお、再選定されました大宮スポーツ広場、宮崎スポーツ広場、ポートアリーナの3施設と昨年度から継続して指定管理業務を行っているアイススケート場、市民ゴルフ場の年度評価につきまして、この後、議題2として皆様にご審議をいただきます。

平成27年度における指定管理者の指定結果に関する説明は以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございました。

ただいまの事務局からのご説明について、何か質問等ありますでしょうか。

早速私のほうから確認させてください。先ほど丸島部長のほうからご案内がありました指定管理者が変更になったものは4番の施設でよろしいですかね。

○丸島生活文化スポーツ部長 一応5番のほうもですね。

○横山部会長 5番も。

○丸島生活文化スポーツ部長 はい。今までJVであったのが単独のNASになったので。

○横山部会長 4と5が変更になったと。

○丸島生活文化スポーツ部長 はい。

○横山部会長 すみません。確認しました。ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問等、よろしいでしょうかね。

(なし)

○横山部会長 それでは、次に、議題2「平成27年度に指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価について」に入ります。

まず始めに、千葉市大宮スポーツ広場について、施設所管課よりご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長　　スポーツ振興課でございます。座って説明させていただきます。

それでは、資料4-1でございます。大宮スポーツ広場、「平成27年度指定管理者評価シート」についてご説明をいたします。

まず、「1 基本情報」でございますが、指定管理者は千葉市大宮スポーツ広場管理運営委員会で、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」はご覧のとおりでございます。

「(2) 利用状況」ですが、利用者数は1万5,131人で、前年度比87.2%となっております。稼働率は55.2%で、前年度より5%の減となっております。

「(3) 収支状況」についてでございます。まず、こちらの箱の中にある計画額でございますが、今回、この大宮スポーツ広場を始め、今回この後ご審議いただきますすべての施設につきまして、指定管理者が、前年度の実績を踏まえまして、必要な見直しを行った上の数字が記載されております。年度協定を締結するに当たりまして、内容について市と協議を行っており、その精査の結果、妥当であると判断したものでございます。

決算額につきましては、「①収入実績」、225万2千円に対しまして、「②支出実績」は213万7千円で、「③収支実績」としては11万5千円の黒字となっています。

「(4) 指定管理者が行った処分の件数」については、ご覧のとおりでございます。

2ページをご覧ください。「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」については、ご覧のとおりでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてですが、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」です。

「①アンケート調査の実施内容」ですが、8月30日から10月25日の間、施設の窓口でアンケート用紙を配布し、回答者は139人です。

質問項目は、居所、年代等の5項目であり、「②調査の結果」は、「ア 居所」については、若葉区が85.6%と、地元の方に利用されております。「イ 年代」については、60代、70代の利用者が80.6%を占めております。「ウ 利用頻度」については、4月から10月までの間に11回以上利用されている方が74.8%となり、常連が多いという状況でございます。「エ スタッフの対応」については、「とても良い」「まあ良い」が全体の80.4%であり、おおむね高い評価でございます。「オ 施設の満足度」については、すべての利用者が今後も利用したいという結果です。

「③主な意見、苦情と対応」ですが、テニスコートのベンチの修繕について、複数の方から要望がありまして、指定管理者において対応済みでございます。

また、駐車場の要望がありますが、敷地形状により整備が困難な状況にございます。

次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」ですが、平成27年度はございませんでした。

次に、「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目もおおむね計画書のとおりとなっております。

次に、「5 市による評価」でございますが、利用者の減少はあるものの、アンケート調査の結果、利用者が高い満足度を得ていると認められること、また、利用者の要望に応じ

て簡易的な補修を行う等、利用環境の改善に努めたこと、維持管理及び運営について、おおむね事業計画書どおり行われていることから、評価は「A」といたしました。

3ページをご覧ください。次に、「履行状況の確認」ですが、すべての項目において、仕様・提案どおりの実績、成果が認められるため、「2」としております。

したがいまして、合計32点、平均点が2点でございます。

平成27年度指定管理者評価シートの説明は以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございました。

ただいま所管課からご説明がありましたが、年度評価では、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することとなっており、これから計算書類等を基に、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うことになります。

計算書類等の中で、一般には公開されていない法人等情報を含んでいる場合には、千葉市の情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例の第25条ただし書きの規定によって、会議は非公開といたしますが、当該施設の指定管理者である千葉市大宮スポーツ広場管理運営委員会の計算書類等には、この法人等情報が含まれていないと判断されるため、公開のまま会議を行いたいと思います。

それでは、公認会計士でいらっしゃる織戸委員より、指定管理者の財務状況等について、計算書類等を基にご意見をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○織戸委員 よろしくお願ひします。

資料4-4です。表紙をめくりますと「貸借対照表（平成28年3月31日）」、これは内容を見ましても、特にコメントすべき資産、負債はございません。そして、前年または前々年と比べても大きな変動はありません。

次のページの「大宮スポーツ広場収支決算書」、総括表ですね。これは先ほど安藤課長がご説明になりました収支の状況そのものの数字です。「(1) 収入」が合計225万1,800円、「(2) 支出」の合計が213万6,676円、差額が11万5,124円、収支どんとん、ちょっと余りぎみだというところですので、委託料収入の範囲で特に問題なく運営していると思われます。

したがいまして、結論としましては、撤退、倒産のリスクはないと判断いたします。

以上です。

○横山部会長 ありがとうございました。

ただいまの財務状況の意見につきまして、委員の皆様から何かご質問等はございますでしょうか。

ちょっと私から、所管課に対して1点質問させていただきたいんですが、4-4の3枚目、「収支決算書」に、先ほど4-1で、アンケートの項目で言及がありました修繕のことで、修繕費が計上されていない、ゼロになっているんですけども、これはこの指定管理者のほうで自前で何か修理していただいたと、そういうことでしょうかね。

お願ひします。

○安藤スポーツ振興課長 指定管理者のほうでお金をかけずに、あるものを使って修理していただいております。

○横山部会長 ありがとうございます。節約に努めていただいていると評価してよろしいんでしょうか。分かりました。ありがとうございます。

ほかにご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうかね。

どうぞ。

○内山委員 書いてあるとおりなんんですけど、今、野球場がほとんど使用されていない。

○横山部会長 今、ごめんなさい。財務状況について。すみません。

○内山委員 財務か。ごめんなさい。

○横山部会長 また後でその機会を設けたいと思います。

○内山委員 財務ならいいです。

○横山部会長 財務に関しては、小さな組織ですので、問題ないかと思います。よろしいでしょうか。

○内山委員 はい。ごめんなさい。

○横山部会長 そうしましたら、特にご意見というのはなかったかと思いますけれども、財務状況についての意見としましては、収支相当という感じでしょうかね。

○織戸委員 はい。

○横山部会長 であるから倒産、撤退は、よろしいですか。前年度に比べて変化なく、委託料の中で適切に運営されているということでしょうかね。ということで、倒産、撤退リスクについてはないということになるかと思います。これを今回の意見とさせていただくということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点などについて、指定管理者評価シートを基に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。併せて質問の機会とさせていただきたいと思います。

ちょっと事務局のほうに尋ねますけど、事前のご質問というのは出ているわけでしょうかね。特に。委員のほうからということですけど。

○青木文化振興課長 出ておりません。

○横山部会長 出でない。

じゃあ、すみません、ちょっとこの機会に、出でないかもしれませんけど、出しておいてください。

内山委員のほうから。ご質問でしょうかね。

○内山委員 先ほどはどうも大変失礼しました。申しわけございません。早とちりでした。

先ほど大宮さんのほうは、この書いてあるとおりなんんですけど、野球場が1年間、もうほとんど使用されていないということですけど、今後ともそういうふうに続くということになるんでしょうかね。

○横山部会長 ごめんなさい。関連質問をちょっと私もさせていただきたいんですけども、この4-1で、地元の少年野球チーム、大宮タイガースが解散したということが記載されているんですけど、代替のチームというか、何か新たに使いたいチームとかがあるのかどうかも併せてお尋ねしたいと思います。

お願いします。どちらからでも。お願いします。

○安藤スポーツ振興課長 代替のチームというのは特にございませんで、ソフトボール

のチームであったり、相手が、そのチームが使わなかった、今まで使っていた時間帯が空くわけでございますので、別の団体が、ここ、空いてるぞということで、利用をしていただくというような形になっております。

あと、野球場がほとんど使われていないということですが。

○内山委員 ゼロ、ゼロ、ゼロになってますけど。

○安藤スポーツ振興課長 多目的広場のほうではないかと思うのですが。

○横山部会長 4-3の1枚めくった利用状況を見ればよいのでしょうかね。

○安藤スポーツ振興課長 4-3のを見ていただきまして、つくりが施設名、庭球場、野球場、多目的広場。

○内山委員 これはあれだ。利用収入がない。子どもだからか。

○小川委員 使用料収入がないんだね。

○内山委員 収入がないということだ。ごめんなさい。収入がないんだ。

○横山部会長 実利用者数もこんなに多くはないという感じでしょうかね。

○安藤スポーツ振興課長 野球場につきましては、合計で年間1万829人でございます。庭球場は4,302人と。合計で1万5,131人ということでございました。多目的広場の利用がゼロということでございます。その利用が課題というか、利用がなかなか見込めないような規模の、単なるスペースという形になっております。

○横山部会長 そこを駐車場に利用するような計画というのはないんですね。お金をかけて。傾斜地で、ちょっと段差がある場所柄だと思いますけど。車をとめるスペースとしては何かある、そのアプローチというんですかね。

○安藤スポーツ振興課長 利用がないということでございますので、それも含めて考えてみたいと思います。広さ的にはバレーボールコート1面分ちょっとぐらいの広さでございますので、そう台数がとめられるものではないと思いますが、その可能性も含めて検討してみたいと思います。

○横山部会長 ありがとうございます。

ほかにご質問等ございますでしょうか。意見を述べる機会ということでもありますので、積極的に意見を出していただけるとありがたいです。

小川委員さん、いかがでしょうか。限られた資源で頑張っていらっしゃるような。

○小川委員 そうですね。頑張っていると思います。

一つ、現場の事務所とは別に自治会館に役員の方が3名いるということで、それで1人1月1万で、非課税ですので3万掛ける12か月分払っていますよね。あれなんかは実際お聞きしたら、常連の方に聞いたら、利用者の方は直接現場の事務所へ行って、自治会館のほうに一切来ないとか聞いたんですけど、その辺の。

○スポーツ振興課 施設の利用に当たっての予約ですか電話等での問い合わせについては、自治会館のほうで受けているというところです。

○小川委員 自治会館のほうでやっているということですか。分かりました。結構です。

○横山部会長 ご質問としてはよろしいでしょうか。

谷藤委員、いかがでしょうか。

○谷藤委員 そんなに大したことか分からないんですけど、アンケートのほうを見ると、実は多目的広場、使いましたというふうに出ていて、あれ、利用状況ないんだって思った

んですけど、なので何か、実はちょっとした使い方をしているのかなと思ったりしたんですが、そのところを、どうなのかというところを踏まえて、駐車場の要望なんかはあるみたいなので、もっと有効に使えるようになるといいかなというふうには思いました。

○横山部会長 ご意見としては、指定管理者に対しては、利用方法についてもうちょっと考えてほしいと、そういうことでしょうかね。

○谷藤委員 そうですね。

○横山部会長 現状の中でということでしょうか。

○谷藤委員 はい。

○横山部会長 織戸委員、いかがでしょう。

○織戸委員 特にありません。

○横山部会長 ご意見を出していただけするとありがたいんですが。

私からちょっと申し上げると、先ほどアンケートの回答がありました。年代としては60代、70代という方がほとんどということで、非常に高齢化が進んでいるということなので、若年層に対して積極的にアプローチしてほしいという、そういう意見です。野球チームの件もやはり、特に少年野球ですかね。若年層について、積極的に誘致する等、あるいは空いてるぞというPRなどに努めていただきたいというふうに考えます。

内山委員、何かご意見ありませんか。

○内山委員 あれだけでよく管理されているなど、大変だなと思ってますけど。

○横山部会長 限られた資源の中で頑張っていることは評価すると。

○内山委員 少年野球がなくなったということで、また大変かなと思うけど、その点、ちょっと今度は考えていただかないと、利用人数が減るかなと。

○横山部会長 そうですね。前年比で87%ということですから、更に減少傾向が進んでいくということでしょうか。

○内山委員 そのくらいかな。

○横山部会長 ありがとうございます。

ほかにご意見、よろしいでしょうか。

(なし)

○横山部会長 今、委員の皆様からさまざまご意見いただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点などの主な意見としましては、おおむね良好な管理運営が行われており、限られた資源の中で努力されていると考えられますが、一方で、意見としましては、多目的広場について、駐車場として利用するなど、利用率の向上に努められたいということや、現在の利用状況を踏まえて、特に若年層に積極的にアピールしてほしいという意見がありました。

これを本部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市大宮スポーツ広場の指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価についての本部会の意見をまとめていくということになりますが、詳細につきましては、私と事務局にて調整するということで、ご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございました。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

それでは、次に、千葉市宮崎スポーツ広場について、施設所管課よりご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、引き続き説明をさせていただきます。

それでは、宮崎スポーツ広場、「平成27年度指定管理者評価シート」でございます。

資料5-1でございます。資料5-1、「平成27年度指定管理者評価シート」をご覧ください。

まず、「1 基本情報」です。指定管理者は、千葉市宮崎スポーツ広場管理運営委員会で、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」はご覧のとおりでございます。

「(2) 利用状況」ですが、利用者数は8,528人で、前年度比94.8%となっております。稼働率は62.5%で、前年度より0.4%の減となっております。

「(3) 収支状況」ですが、決算額は、「①収入実績」225万2千円に対し、「②支出実績」は226万4千円で、「③収支実績」としては1万2千円の赤字となっております。

「(4) 指定管理者が行った処分の件数」についてはご覧のとおりです。

次のページ、5ページをご覧ください。「(5) 市への不服申し立て」、「(6) 情報公開の状況」については、ご覧のとおりでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてですが、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」でございます。

「①アンケート調査の実施内容」ですが、10月1日から11月21日の間、施設の窓口でアンケート用紙を配布し、回答者は45人です。

質問項目は、居所、年代等の5項目であります、「②調査結果」は、「ア 居所」については、中央区が71.2%と、地元の方に多く利用されております。「イ 年代」については、60代の利用者が31.9%で最も多く、次いで70代以降が29.8%、50代が19.1%というような状況になっております。「ウ 利用頻度」については、4月から11月までの間に11回以上利用されている方が55.6%となりまして、常連利用が多い傾向にございます。「エ スタッフの対応」については、「とても良い」「まあ良い」が全体の84.4%であり、おおむね高い評価でございます。「オ 施設の満足度」については、ほぼすべての利用者が今後も利用したいという結果でございます。

「③主な意見、苦情と対応」についてですが、コートの予約申込みを電話でできるようにしてほしいとの要望については、予約、抽選ともに電話で完結できる手法について、現在指定管理者と検討中でございます。

電話連絡時や訪問時にスタッフが不在のことが多いとの意見には、原因の調査と改善を指定管理者に指示しております。

次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」ですが、平成27年度はございませんでした。

次に、「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目もおおむね計画書のとおりとなっております。

次に、「5 市による評価」ですが、利用者はわずかに減少しているものの、使用料収入はほぼ昨年度の水準を維持していること、アンケートの結果、利用者が高い満足度を得ていること、さらに維持管理、管理運営について、おおむね計画書どおり行われていることなどから、評価は「A」としております。

3ページをご覧ください。次に、「履行状況の確認」ですが、すべての項目において、仕様・提案どおりの実績、成果が認められることから、「2」としております。

したがいまして、合計32点、平均点は2点でございます。

説明は以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等について意見交換を行いたいと思います。

こちらの指定管理者につきましても、先ほど同様に、計算書類等に関して、個人情報等は含まれてないと考えられるため、公開のまま会議を行います。

それでは、指定管理者の財務状況等について、計算書類等を基に、織戸委員からまたご意見いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○織戸委員 資料5-4です。1枚めくっていただきますと、「貸借対照表（昭和28年3月31日）」、こちらも先ほどと同様、特にコメントが必要な資産、負債、ございません。また、前年、前々年と比べて大きな変動はございません。

次のページの「①収支決算書」、収入の部、合計の（A）、これが今年の収入と前年度からの繰越金を合計した金額、これが234万4,854円、（B）の金額、これがAと同額になっております。ということは、Bの金額の一つ上、次年度繰越金8万418円、これが平成28年度へ繰り越しとあります。つまり収入と前期繰越金をもとに運営した結果、次年度への繰越金が8万円残りましたということで、これも収入の中で適切に管理していると思われます。

したがいまして、倒産あるいは撤退のリスクはないと判断いたします。

以上です。

○横山部会長 ありがとうございました。

ただいまの財務状況のご意見につきまして、委員の皆様から何かご質問はございますでしょうか。

また私から、すみません、事務局、所管課のほうにお尋ねしたいのですが、5-4の収支の「経費決算書」というのかな、あるいは5-3のものに関してですけれども、「収支計算書」の支出のほうの事務費として、報償費あるいは食糧費、保険料という、これ予算の段階では計上されてないものが計上されているんですけども、内訳、何なのかということを教えていただきたいのと、ちょっと問題なのは、報償費というものは支出として問題ないのかということをお尋ねしたいと思います。5-3、1枚めくったところを見ていただきますと早いかなと。いろんなことに対しては。

○スポーツ振興課 報償費については、こちらの指定管理者が、常に利用している団体を中心に、空いている時間を使って自主的な大会を開催しているというところで、その賞状ですか、あるいは景品ですか、そういうものを購入している費用に充てているということになります。

○横山部会長 それは社会通念上、許容される範囲と市は判断されているということでおろしいんでしょうかね。

食糧費とはいうのは会議費とまた別なんですかね。何か会議の際にお昼をとったりとかっていうようなことは以前聞いたことあるように思うのですけれども。特に市で問題視されていないということであれば、それは結構です。

○安藤スポーツ振興課長 ちょっとこちらの認識では、会議の中で使われるものという形で認識をしていましたので、再度こちらのほう、確認をしたいと思います。

○横山部会長 分かりました。じゃあ特に会計上問題はないということでおろしいでしょうかね。織戸委員、問題にするような話ではないと。

○織戸委員 と思います。

○横山部会長 ありがとうございます。

ほかにご質問等ございますでしょうか。

(なし)

○横山部会長 よろしいでしょうか。財務状況についての意見としましては、委託料の中で適切に運営されているということで、倒産、撤退のリスクについてはないということであるかと思います。これを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点などについて、指定管理者評価シートを基に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。併せて質問もいただきたいと思います。何かございますでしょうか。

どうぞ。

○小川委員 先ほどアンケート調査にあった電話連絡時や訪問時にスタッフが不在のことが多いと表記されているのですけれども、その後状況はどうなったのか。今現在。

○横山部会長 はい。

○スポーツ振興課 今のところは、ちょうど予約が入ってないとき、丸一日入ってないときですとか、そういったときに、普段手入れのできないような外周の草取りですとか、建物の裏手の修繕とか、そういったものを行っていることがあるということで、そういったときに予約なしで、空いているときにすぐ使いたいという形で来られた近所の方が、事務室に誰もいないよというような状況が何度かあったというところですので、今後については、受付に敷地内にはいますという形のプレートを出すような形をとるようにという指示を出しております。

○小川委員 分かりました。

○横山部会長 特に怠けていたとか、そういう問題ではないということで。よろしいでしょうか。

○織戸委員 よろしいですか。

○横山部会長 どうぞ。

○織戸委員 今のアンケートに関連してなんですが、5-3の一番最後のページ、「質問8 その他の自由意見」、これを拝見しますと、抽選の仕方を公平なくじにして、自分で引

けるようにしてほしいですか、予約を電話でできるようにしてほしいとか、どうも予約がスムーズにできないような意見があるようなのですが、これに関してはどうなんでしょう。改善しているのでしょうか。

○スポーツ振興課 こちらのほうに関しましては、この内容を見て、すぐに事務の方と話をしたのですけれども、まず、くじを自分で引けるようにしてほしいと書いてあるのですが、今まで必ず自分で引かせているというところなんですね。公平でないという理由がちょっとよく分からぬというふうなところだと。ヒアリングの結果も、必ずくじは自分たちで引かせていると、こういった声が出ないような形にしているということだったので、ちょっとこれが何を意味しているのかというのはヒアリングの結果では分からなかったというところなのですが。

○横山部会長 意見自体の真偽が定かでないということなんですね。

○織戸委員 そういうことなんですね。分かりました。ありがとうございます。

○横山部会長 すみません。予約に関して、将来的に何かウェブ上の予約というようなことはこの施設では考えてないと。

○安藤スポーツ振興課長 そうです。今のところ考えてはないですね。

○横山部会長 分かりました。

ほかにご意見等ございますでしょうか。ここも前の施設と同じように、限られた資源の中で一生懸命やっていただいているというような感じかと思いますけれども、何か改善の提言等がありましたらお願いしたいと思います。

谷藤委員、何かございますでしょうか。

○谷藤委員 アンケートの結果で、指定管理者の方が申込みに関しても検討中ということでしたので、それをできるだけ早くお願いしたい。

○横山部会長 改善点について、速やかに検討いただきたいということでしょうかね。

ほかにご意見はございますでしょうか。何かいただけると非常にありがたいですが。

どうぞ、内山委員。

○内山委員 さっきの大宮さんと同じみたいで、結構やっぱり60代、70代さんの利用は大体60%以上あるということで、若い人は50代なかなか仕事関係で来にくいところもあると思うのだけれども、そういうところをちょっと留意されて、利用人数を増やしていくかないと、ここも大変になるんじゃないかなと思って。

○横山部会長 同じように若年に対するアピールはお願いしないといけないでしょうか。ありがとうございます。

小川委員。

○小川委員 参考意見というのがありますけど、年代別は分かるんですけど、できたら男女別、女性のこういった男女別、その辺がちょっと分かればいいかなと思って。

○谷藤委員 組合せでということですか。年代別の男女別ということですか。

○小川委員 そうそうそう。細かくなっちゃうんですけど、概略、使う施設によるんでしょうね、やっぱりね。

○安藤スポーツ振興課長 その辺もデータとして活用できることですので、アンケートの内容について、その都度また見直していきたいなと思っております。

○横山部会長 男女別の項目も入れていただきたいということで、よろしくお願いしま

す。

○小川委員 女性のほうが長生きしているからね。

○横山部会長 谷藤委員。

○谷藤委員 さっきのところもそうだったんですけど、初めての方がゼロなので、全く使ってない人に何かちょっと宣伝というか、アプローチというか、少しでもお願ひしたいなと思います。

○横山部会長 新規利用者に対するアピールということですね。PRを進めてほしいという、そういうご意見でしょうか。新規利用者獲得のためのですね。

ほかにご意見等ございますでしょうか。

(なし)

○横山部会長 では、取りまとめを。

よろしいでしょうか。委員の皆様からさまざまご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善をする点などの主な意見としては、おおむね良好な施設運営が行われていると考えられ、限られた資源の中で適切に運営していると評価できる。一方で、利用者について、若年者へのアピールをして、利用の向上に努められたい。アンケート内容について、年代別、男女別にして利用の中身を十分に検討してほしい。新規利用者の獲得に向けた方策を検討されたいなどがございました。これらを本部会の意見とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市宮崎スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、先ほど同様、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございました。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

それでは、次に、千葉ポートアリーナについて、施設所管課よりご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、千葉ポートアリーナ、「平成27年度指定管理者評価シート」についてご説明いたします。資料6-1、「平成27年度指定管理者評価シート」をご覧ください。

まず、「1 基本情報」でございます。指定管理者は公益財団法人千葉市スポーツ振興財団で、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」については、ご覧のとおりでございます。

「(2) 利用状況」でございますが、利用者数は27年度、28万2,652人で、前年度比105.7%となっております。稼働率は83.5%で、対前年度比1.6%増となっております。

「(3) 収支状況」ですが、「①収入実績」につきましては、指定管理委託料は1億6,

419万2千円で計画どおりでございます。利用料金は8,196万2千円で、計画額の96%でございます。これは、利用料金が減免となる障害者スポーツでの利用の増加及び全国規模の大会の開催減少に伴う施設設備の利用減少が要因となっております。次に、自主事業でございますが、463万5千円で、計画額の141.2%でございます。その他は174万3千円で、計画額の103.3%。合計2億5,253万2千円で、計画額の99.2%になっております。

次に、「②支出実績」につきましては、人件費は5,937万6千円で、計画額の98.4%。事務費は7,597万2千円で、計画額の100.6%。これは、主に車椅子スポーツでの利用において空調の利用が若干増加したことに伴う光熱費の増でございます。管理費は1億1,626万8千円で、計画額の100.8%でございます。これは、サブアリーナの雨漏りの調査委託の実施による施設管理費の増加によるものでございます。自主事業は358万9千円で、計画額の110.7%でございます。これは、スポーツ教室での託児利用者の増加に伴い、対応人員を増やしたことによる謝礼の増加によるものでございます。合計は2億5,520万5千円で、計画額の100.3%でございます。

次に、「③収支実績」ですが、267万3千円の赤字でございます。

2ページをご覧ください。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」や「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」については、ご覧のとおりでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてですが、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」でございます。

「①アンケート調査の実施内容」ですが、12月から1月にかけてと2月から3月にかけての計2回実施しております。12月から1月に行ったアンケートでは、施設利用者にアンケート及び聞き取り調査を実施し、回答者数は146人です。質問項目は、利用区分、利用目的、施設の快適さ、スタッフの接客マナー等でございます。2月から3月に行ったアンケートでは、施設利用団体を対象にしたアンケートを実施し、回答数は112件でございます。質問項目は、利用種目、利用頻度、施設の快適さ等でございます。

「②調査の結果」についてですが、12月から1月に実施したアンケートでは、主にトレーニング室等の個人での利用者からの回答でございます。利用の目的は、健康維持が52.6%と全体の半数以上を占めております。施設の快適さでは、「とても良い」「まあ良い」が93.1%と高い評価、スタッフの接客マナーは、「とても良い」「まあ良い」が97.2%で、高い評価を得ております。

次に、2月から3月に実施したアンケートでございますが、主にメインアリーナ及びサブアリーナの利用者からの回答となっております。利用種目は、フットサル、バスケットボール、ダンス、バレーボール、バトントワリング、新体操でございます。利用頻度は、月1回程度が66.1%と最も高く、週1回程度が10.7%、週2回程度が22.3%、それ以上が0.9%となっております。施設の快適さでは、「とても良い」「まあ良い」が98.2%と高い評価でございます。

「③主な意見、苦情と対応」についてですが、トレーニング室の通気性がよくない、冷房を特に夏場に効かせてほしいという意見に対しまして、利用者の要望、室内の利用状況等の様子を見ながら調整を行うこととしております。

長時間トレーニングマシンを使用する等、ルールを守らない人がいるという意見に対し

ましては、注意喚起の掲示、トレーナーによる声かけを行っておりますが、再度注意喚起を徹底するよう職員に周知しております。

次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」でございますが、2件の意見がございました。内容としては、1件は、「利用者に対する職員の対応に問題がある」とのご意見があり、接遇の向上について指導を行っています。もう1件は、「車椅子大会時にトイレが車椅子利用者で混雑し利用できない」との意見がございました。こちらにつきましては、大会の都合上、一部トイレの使用を制限したこともありまして、このような事態が生じたため、今後、利用者に配慮した大会運営について、主催者と協議、検討を行ってまいります。

3ページをご覧ください。次に、「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も、管理運営の基準や事業計画書への適合状況は「極めて良好」または「良好」でございまして、総合評価は「良好」となっております。

次に、「5 市による評価」ですが、ポートアリーナの管理を24年間行ってきた実績、経験によりまして安定した管理運営を行ったこと、実施した利用者アンケートでの施設の快適さ、スタッフの接客マナーの項目について、「とても良い」「まあ良い」の回答が90%を超えており、良好な運営が行われたこと、おおむね管理運営の基準、事業計画どおりの実績、成果が認められることから、評価は「A」といたしております。

次に、「履行状況の確認」でございますが、おおむね管理運営の基準、事業計画どおりに実施されていることから、すべての項目におきまして「2」と評価いたしております。

したがいまして、合計48点、平均点が2点となっております。

説明は以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して意見交換を行いたいと思います。

こちらの指定管理者についても先ほどと同様に、計算書類等に関して法人等情報は含まれていないと判断されるため、公開のまま会議を行います。

それでは、指定管理者の財務状況等に関し、計算書類等を基に、また織戸委員からご意見いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○織戸委員 よろしくお願ひします。

6-4です。6-4、ページが大変多くなっておりますので、重要なところだけかいつまんで申し上げます。

まずは、24ページと25ページ、見開きで「貸借対照表(平成28年3月31日現在)」、これの大きな合計値を中心に見ていきますと、まず、24ページの一番下、資産の合計、これが当年度では8億2,198万7,994円、前年度では8億1,715万2,410円でした。したがいまして、当年度の資産合計は前年度より483万5,584円、ほんの少しですが増えています。資産合計は微増の状態です。一方、25ページの真ん中辺、負債合計、これが当年度は2億7,704万7,529円、前年度は2億6,488万5,04円、これも当年度のほうが増えておりまして、幾ら増えたかというと、1,216万7,025円。つまり資産が480万ほど増えましたが、それ以上に負債が増えておりますので、正味財産は減っております。正味財産が減っているのがどこに書いてあるかと言うと、25ページの一番下から2行目、正味財産合計という欄です。これを見ますと、当年

度の正味財産、これが5億4,494万465、前年は5億5,227万1,906、約730万円正味財産が減少しています。財政状況の変化を見ますと、今申しましたとおり、わずかに正味財産が減っていますが、733万千円という減少額は全体の財産にとっては少額ですので、財政状態に大きな変動はないと、まずそれが一つ言えるかと思います。

28ページと29ページ、これに損益の状態が載っておりますが、これも結論から言いますと、収支がとんとんと運営なさっていると、特に問題はないかと思います。数字がたくさんありますので、特に指定しないで申し上げますが、事業収益、こちらでは28ページに「(1) 経常収益」というのがありますと、そこから5行下に、28ページです。事業収益、事業収益の大きなものは、上から二つ目の指定管理事業収益、それとそこから10行ほど下の受取補助金等、受取地方公共団体補助金、これらの他に設備の使用収益ですか利用料金等がございます。この事業収益と事業費用プラス管理費、これがほぼ見合った水準で活動が行われております。したがいまして、収支相償、これが保たれた状態でありますと、決算書から判断する限りにおいては、特段の経営上の問題はなく、撤退、倒産のリスクはないと判断されます。

以上です。

○横山部会長 ありがとうございました。

ただいまの財務状況のご意見につきまして、委員の皆様から何かご質問等はございますでしょうか。

私のほうからまた所管課に質問させていただきたいんですけども、今ご説明のあった28ページの事業収益の中で、一番上の受託事業収益というのが、前年度1,600万あったのが丸々ゼロになっているんですけど、これは何がなくなったのかということを教えていただきたいんですね。また、今後復活する予定があるのかどうかも併せて教えてください。

○スポーツ振興課 昨年度までは、市から委託をして運営していた教室ですとか事業があったのですけれども、そちらをすべてなくしまして、財団のほうの自主事業という形で実施していただく形になった関係で、こちら、ゼロということになっております。

○横山部会長 これは指定管理業務の中の自主事業という意味ですか。

○スポーツ振興課 指定管理だけではなく、財団として行う教室ですとか、そういうものを含め、今まで別途委託費をお支払いしていた分をなくして、それで補助事業で実施したことにしております。

○横山部会長 そういう形での委託は市からではないということでおよろしいんでしょうかね。

○スポーツ振興課 はい。

○横山部会長 それを踏まえて、すみません、織戸委員、絶対的なボリュームは余り大きくないから影響ないということでよろしいのでしょうか。

○織戸委員 収入が減った分だけ、ちょうど事業費も減っておりますので、特に経営上の問題はないであろうと判断できるかと思います。

○横山部会長 分かりました。ありがとうございました。

どうぞ。

○小川委員 今の話、そうすると、スポーツ振興財団の自主事業が前年度より140何%

増えていますよね。それはこの市からの委託がなくなった分、自主事業が増えたという考え方でいいんですかね。そこに相関関係があるんですか。

○スポーツ振興課 ちょっと関係ないです。

○安藤スポーツ振興課長 実は、スポーツ教室、自主事業でスポーツ振興財団もたくさんやっておったんですが、市の事業として、市の予算を使ってスポーツ教室、健康系のスポーツ教室、これをやっておった経過がございます。これは随意契約という形でスポーツ振興財団にお願いしたんですが、この部分について、市が直接予算を投入してやるよりも、スポーツ振興財団、まさにスポーツを振興する組織でございますので、その事業として位置づけたほうがよろしいのではないかということで、受託事業を見直しまして、その分、補助事業ということで、補助金のほうに入れるような、そんなような形で予算の組み方を変えている部分もございます。

○横山部会長 540万円ほど受け取りの補助金が増えているというのはそこの部分。

○安藤スポーツ振興課長 そうでございます。

○横山部会長 分かりました。

○織戸委員 それに関して確認の質問ですが、よろしいですか。

○横山部会長 どうぞ、織戸委員。

○織戸委員 5-4の5ページ、これの一番上に「(4) スポーツ教室企画運営事業」とあります。

○安藤スポーツ振興課長 6-4。

○織戸委員 6-4です。ごめんなさい。6-4の5ページ目です。一番上のタイトルです。「スポーツ教室企画運営事業」。これが今おっしゃっている話のあれですか。受託事業でなくなったという。

○安藤スポーツ振興課長 これが全部そうではないです。

○織戸委員 全部ではないんですね。

○安藤スポーツ振興課長 はい。

○織戸委員 で、5ページの。

○安藤スポーツ振興課長 すみません。この5ページの4ですね。

○織戸委員 6-4の5ページです。

○安藤スポーツ振興課長 はい。こちらのほうが、いろいろな種目がございますが、主に実施年ですとかそういったもの、健康系のもの。違いますね、すみません。こちらについては。

すみません、資料。

○横山部会長 直接の対応関係はないんでしょうね。

○織戸委員 ないんですか。実はこれの、6-4、今見ているのは平成27年度ですが、2、30ページ後ろに平成26年度の5ページ、これのタイトルを見ますと「(4) スポーツ教室企画運営事業」とありますて、わざわざ括弧で「(千葉市からの受託事業)」とあるんですね、26年度では。27年の同じページを見ると「(受託)」というのが消えているんですよ。それで関係があるのかなと思ったんですが、そうでもないんですか。

○横山部会長 もし分かれば。

○安藤スポーツ振興課長 5ページのものについては、以前からこれはやっているもの

でありまして、7ページにある上の表、「健康づくり講座企画運営事業」というのがございまして、こちらを市の事業として、働き盛りの方々に対するスポーツ教室、健康系のスポーツ教室を市の事業としてやっていたのですが、これを新たに財団のほうに、これを受託事業としてやっていたものを、これを補助事業に変えたというような形になっています。リンパマッサージからルーシーダットンです。

○織戸委員 分かりました。

○横山部会長 それの連携のことで。ご意見、何かありますか。

○織戸委員 ありません。

○横山部会長 よろしいでしょうか。

○織戸委員 はい。ありがとうございました。

○横山部会長 ありがとうございました。

本指定管理者の財務状況につきましては、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、正味財産合計としては、約733万円の赤字であったものの、全体の財産にとっては少額であることから、財政状況に大きな変化はないこと、事業収益が減っているものの、全体として大きな影響はないことなどから、倒産、撤退等のリスクはないと判断されるということでおろしいでしょうか。これを本部会の意見ということでおろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点などについて、指定管理者評価シートを基に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。併せて何かご意見等ございますでしょうか。

私のほうからじやあ何点かお尋ねします。6-1に関して、まず、収支状況、利用状況の減少については、特に減免対象となる障害者のスポーツ利用の増加であるとか、支出のほうの増加については、車椅子スポーツでの空調利用の増加などということが書いてありますけれども、ここについては特に市として問題視しているわけではないということでしょうか。と言いますのは、これ福祉の問題ですので、それをそのまますべて指定管理者に転嫁するのは酷なのかなと思っております。これは行政として行うべきサービスかもしれませんので、こういう収支状況について、何か助成をするであるとか、あるいは管理委託料の見直しを行うとか、何かそういうことはお考えなんでしょうかね。もし分かれば。

○安藤スポーツ振興課長 確かにおっしゃるとおりでして、28年、本年度以降の指定管理に関しましては、今後、更に障害者利用というのが増えてくることが見込まれておりますので、その分、両方考慮した上で委託料のほうは設定しております。

○横山部会長 今後じやあこういう、これ、多分、特に市長が音頭をとってやっている施策だと思いますけれども、増加があったとした場合にも、指定管理者のほうの過度の負担にはならないという理解でおろしいでしょうか。

ありがとうございます。

あと、もう一つ私のほうからお尋ねしますけど、やはり6-1の2ページのアンケートで、利用者ニーズ・満足度の把握で、接客マナーについて、アンケート結果で「やや悪い」と「非常に悪い」が1.4%ずつあって、これ実数だとともに2人ずつそういうご意見が

出ている。合計4件。さらに、苦情があつて、それに対する指導を徹底するというような回答をされている。ですから何かちょっと問題があつたのではないかというふうにも推察されるんですけど、市としてはどういうふうにお考えなのか。さらに、それを踏まえて、市による評価としては、接客マナーが優れているというふうに評価されていますけど、その辺についてもどういう理由でこういうご意見なのかということをちょっとお尋ねしたいんですが、お願ひできますでしょうか。

お願ひします。

○安藤スポーツ振興課長 スポーツ振興財団は、公益財団法人になりますから、自主的な取り組みとして、接客マナーの向上ということで、組織を挙げて取り組んできた結果、大分接遇については改善してきたというのが我々の印象でございます。

しかしながら、一部、利用者への注意みたいなのがありますし、その場の口の利き方が軽率であったというようなこともあるでしょう。そういう形で不快に思われた利用者もいたということは事実でございますので、その辺は再度周知徹底をして、お客様に対するサービスのあり方というものは再度職員が全員共有するようにということで指導しております。資質の向上は、サービス業の肝でございますので、引き続きそういうものに心がけた施設運営に努めていきたいというふうに思っております。

○横山部会長 市としては、全体的にはいい傾向にあるということで評価されているということですね。分かりました。ありがとうございます。

どうぞ。

○織戸委員 すみません。今のと関連するのですけれども、6-3、2、30ページ後に利用者アンケートの集計結果というのがありますて、利用者アンケートの第1回目と第2回目がありますて、第1回目の2枚めくった3ページ目に「4 その他」というのがありますて、これの気になるのが、スタッフ同士で遊び過ぎると書いてありますて、これちょっと致命的じゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○横山部会長 お願ひします。

○スポーツ振興課 そうですね。施設のほうにもこの話を確認はしていたのですけれども、そんなふざけているという、聞き取りしている段階で話を把握まではできてないのですが、ふざけて遊んでいるというような状況ではなく、お互いに話しているとか、そういうところで指摘されてしまったのではないかという話でして、その辺、注意するようにという話はしているのですけれども、今後、指導のほうをしていきたいと思っております。

○横山部会長 注意喚起された上で指導されていくということですね。

よろしいでしょうか。

何かご意見はございますでしょうか。

どうぞ。

○丸島生活文化スポーツ部長 よろしいですか。このような、少数とはいえ書かれることは、やはり財団運営としても好ましいことだとは思いませんので、この辺は、多分一部のたまたまそういう感じで見てしまったことを書かれたんだと思いますが、そういうことがないように、私ども、財団のほうを積極的に指導をしていきたいと思っております。

○横山部会長 大きな問題はないということで承りました。

○丸島生活文化スポーツ部長 ありがとうございます。

○横山部会長 ご意見等、いかがでしょうか。

○小川委員 もう一つだけ。

○横山部会長 どうぞ、小川委員。

○小川委員 このアンケートで、いわゆる車椅子大会、市長が力を入れるということで、いろいろ昨年も多くあったんですが、そういう人たちに対するアンケート調査みたいなのはやっている。どうなんですか。

○横山部会長 分かればお願ひします。

○小川委員 いいや、そういう大会に参加した人たち、障害者の方のアンケートというのは。それはやってないのかな。

○スポーツ振興課 今のところ障害者の方に絞ったアンケートというのはとっていないんですけども、そうしたところも。

○安藤スポーツ振興課長 大会がメインでございまして、昨年もリオのパラリンピック予選大会であったり、ジャパンパラであったり、全日本選手権であったりと、そういうアスリートを中心に、主催者が日本協会だったり、アジア協会だったり、そういうところの大会でございますので、なかなか選手をつかまえてというのは、多言語化もございますし、難しいところがありました。個々のアンケートということは考えておりませんで、大会時に協会からご意見をいろいろいただきしております。こうしたほうがいいとか。その辺の、障害者の主催者のほうからいただいたご意見、これを反映した運営をしていこうかなというふうには考えております。

○横山部会長 ありがとうございます。

ただ、市としては、障害者スポーツのメッカとしてやっているわけですから、そういう何かアンケートなんかをとっていただいたほうが有益かもしれないんですよね。何かそういう形でご意見ということでおろしいでしょうかね。

○小川委員 そうですね。

○横山部会長 分かりました。

ほかにご意見等ございませんか。

どうぞ、谷藤委員。

○谷藤委員 障害者スポーツのメッカにするということもあり、非常にスケジュールなんかを見ても随分障害者スポーツのイベントがたくさんあって、収入減になっているというところもあるんですが、その収入減の話は、先ほど市のほうでもということではあるんですが、ほかの全国的な施設を見ますと、必ずしもこんなに減免が手厚いところばかりではないので、どんどん千葉市を、ポートアリーナを利用するというふうになってくることもあると思うんですけど、そうなってくると、そうじやない一般の市民が使うとか、障害者じやない大会とかが割合的に難しくなると思うので、非常に難しいところだと思うので、その辺、市のほうと指定管理者と何かバランスをどうしたほうがいいとか、その辺は十分協議しながら、指定管理者が順番どおりに受けてというのだけではなかなか難しいのかなというふうに思いました。指定管理者への要望なのか、市への要望なのか、両方という感じですが、考えていく必要があるかなと思います。

○横山部会長 指定管理者に際しては、市と更に協調的にやっていただきたいということでしょうかね。

○谷藤委員 はい。

○横山部会長 どうぞ。

○丸島生活文化スポーツ部長 その辺に関しましては、今、谷藤委員さんがおっしゃつたように、障害者スポーツをどんどん千葉市として今推進しようとしておりまして、こういった大会を誘致すると必然的に指定管理者の収入が減っていくという、お互いに相反するものをどうバランスをとっていくかということだと思います。指定管理者からすれば、そういうたたかを広めたいと思っております。一方で、市としては、障害者スポーツをもっと普及したいという面があります。それらの政策的な面と指定管理者の収入面、うまくバランスをとって、我々とすれば、もっと障害者スポーツを広めたいと思っておりますので、その辺、指定管理者とよく協議しながら、バランスをとりながらやっていきたいと思ってます。その辺は委員さんの意見を受けながら、我々も今後、うまく運営をしていきたいと考えております。

○横山部会長 ありがとうございました。

すみません。私からちょっと意見ですけれども、6-3の「事業報告書」の、ページ数が分からなければ、10ページぐらい先に、「自主事業実施報告書」というのがあります。自主事業としてやった事業は大体載っているものなんですが、なかなかちょっと評価は難しいかもしれませんけれども、今回、収入の実績としては、計画より141%増ということでおいいと思うんですけども、マンネリ的な印象も受けますので、更に魅力的な自主事業を展開していただきたいというふうに思っております。意見です。よろしいでしょうか。

ほかにご意見等ございますでしょうか。

小川委員さんは利用されたりしますか。

○小川委員 以前はトレーニング室を利用したけど、今はちょっとまた。

○横山部会長 部屋の中で、どこでしたか、トレーニング室で2点。ごめんなさい。ちょっと場所が分かんなくて、利用状況が非常に悪いところがありますよね。実績として200人ぐらいしか使ってない。体力測定室でしたっけ。そうですね。6-3の1ページめくったところですね。「利用状況総括表」の27年度、区分の下から三つ目でしょうかね。27年度の利用者数が264ということで、他の施設が最低でも1万人使っているところ、極端に、2桁低いという数字なので、これどうなんでしょう、存続させる意味があるのかどうかも含めてご検討いただいたほうがいいのかもしれない。また、体力測定室を専門の場所でやらないといけないということなんでしょうかね。何かほかの、臨時に設けたりとかということでできるのであれば、施設の有効利用に努めていただきたいというふうに思っています。

何か、すみません、状況についてご意見というか現状を教えていただければ。

○スポーツ振興課 確かにこのような形で人数は少ない状況になっておりますが、28年度につきましては、体力測定という部屋の名前ですけども、ここで新たに教室を開くというような新たな事業を展開していく計画になっておりまして、今年度よりは改善していくと思います。

○横山部会長 ただ、隣の部屋から人が移っただけじゃ意味がないので。

○安藤スポーツ振興課長 体力測定室でございますが、これは体育館を建てる際に、補

助金の関係で、そういう部屋を設けなければその補助が受けられないというようなことで作ったもので、そういう名前が今ついていると。実際に体力測定自体はほとんどやられてないという実態でございますので、例えばトレーニング室の1と2というような形で、今やっているものを別のメニューをやるトレーニング室であったり、そういうふたよな活用をしていければいいなど、今、協議中です。28年度は教室利用ということで、そこを利用しようという形をしておりますが、将来的にはよりお客様が集客できるような形に施設の有効活用というのを考えていきたいなというふうには思っています。

○横山部会長 その当初の補助の関係から、目的外利用が問題視されるということはないということでよろしいんですよね。市ですから当然検討されているんでしょうけど。

○安藤スポーツ振興課長 それは、名称は残しまして、必要に応じて体力測定というものは実施してまいりますので。

○横山部会長 問題ないというご判断されたと。

○安藤スポーツ振興課長 はい。

○横山部会長 分かりました。ありがとうございます。

ほかにご意見等ございますでしょうか。

織戸委員さん、何か。まさに指定管理者を評価しなければいけないので、何か褒める点でも。

○織戸委員 今まで出たところで結構だと思います。

○横山部会長 内山委員さん、何か意見は。

○内山委員 ほとんどアンケートで申し訳ございませんが、このアンケートで、これはもう誰でも言う言葉だと思うんですけど、例えば駐車料金が高いとか、利用料金が高いとか、パスポートを安くしてくださいとか等々と、そういう値段のことが結構ありますけど、それに対応が、ご理解、ご協力をお願いしますって最後書いてありますけど、これずっと対応するのかね、この言葉で。

○横山部会長 料金は条例事項ですよね。だからこれ、指定管理者の責任にはできないものですよね。

○安藤スポーツ振興課長 そういうことでございまして、条例で定められておりまして、これを指定管理者の独自の判断で下げるということはできるのですが、これは、経営にも直結するわけであります、それはなかなか難しいと。設計金額との乖離が生じてしまいますので、難しいのかなと思っております。なかなか高いということを指摘を受けておりますけれども、この規模の施設でございますので、致し方ない部分はあると思います。冷暖房完備で大アリーナも擁しているという部分もございます。

○横山部会長 逆にむしろ利用料金に見合ったサービスの向上ということで。

○内山委員 私らはいいんですけど、結構そのことに、お金のことに結構このアンケートというのは多いから、ご理解、ご協力をお願いしますって言って、それで納得して、また利用してくれば、それはまたいいかなと思うんですけど、それがずっとそのまで、いつもご理解、ご協力をお願いしますので対応していくかなと思いまして。

○横山部会長 そこの点についても鋭意検討していただきたいということですね。

あと、ごめんなさい。利用者数、増加しているというところは評価しているんですが、すみません、これは何か増減の原因が指定管理者の努力以外にあるとか、そういう話でし

ようかね。指定管理者の努力と言ってしまっていいでしょうか。

○丸島生活文化スポーツ部長 ただ、昨年度までは大会誘致をかなりやりましたので、その部分で利用者が増えている。ただ、一方で、車椅子大会とか、障害者系の大会を誘致しましたので、利用料金はそんなに伸びてないというのが昨年度の状況だと思います。

○横山部会長 まず人数を増やして活性化を図るということも大事だと思いますので、その点はじゃあ指定管理者を高評価すべきところかなと思います。

ほかにご意見等ございますでしょうか。

(なし)

○横山部会長 委員の皆様からさまざまご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点などの主な意見としましては、おおむね良好な施設運営が行われていると考えられ、利用者数が増加するなど、指定管理者の努力については評価できる。アンケート方法について、大会に参加する障害者を対象とするなど、サービス向上に向けて工夫されたい。3番目、障害者スポーツの利用に当たり、市と指定管理者の連携内容について十分に検討されたい。自主事業の魅力向上に向け、事業内容の見直しや充実を検討されたいなどの意見がございました。これらを踏まえて本部会の意見とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは、先ほどの財務状況を含めて、千葉ポートアリーナの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくことになりますが、詳細については、また私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございました。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

それでは、ここで10分間の休憩を入れたいと思います。

(休憩)

○横山部会長 そろそろ時間でよろしいでしょうかね。

事務局のほう、よろしいでしょうか。

○青木文化振興課長 はい。

○横山部会長 じゃあ再開させていただきます。

次に、千葉アイススケート場について、施設所管課よりご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、資料7-1をご覧ください。千葉市アイススケート場（アクアリンクちば）、「指定管理者評価シート」でございます。

まず、「1 基本情報」ですが、指定管理者は株式会社パティネレジャーで、指定期間は平成26年4月1日から平成36年3月31日までの10年間でございます。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」は、指定管理事業及び自主事業となっており、内容は表のとおりでございます。

「(2) 利用状況」ですが、利用者数は22万6,287人で、前年度比97.6%。

「(3) 収支状況」でございますが、「①収入実績」は、利用料金は1億5,459万4

千円で、計画額の 102.4% でございます。自主事業は 5,586 万 7 千円で、計画額の 99.7%。収入の合計額は 2 億 1,046 万千円で、計画額の 101.7% でございます。

次に、「②支出実績」ですが、人件費は 9,263 万 7 千円で、計画額の 106.4% でございます。これは主に非常勤職員の配置人数と時給の増加による給料の増加、並びにスタッフ用のユニフォームの更新をしたことによる福利厚生費の増加によるものでございます。事務費につきましては 4,046 万 8 千円で、計画額の 103.8%。管理費は 4,522 万 6 千円で、計画額の 125.2% となっております。これは主に経年劣化による修繕費の増加と製氷車部品交換、備品購入、清掃費用の増加による施設管理費の増加によるものでございます。自主事業は 3,341 万 9 千円で、計画額の 96.3% となっております。支出の合計は 2 億 1,175 万円で、計画額の 107.5% となっており、「③収支実績」ですが、128 万 9 千円の赤字ということになっております。

「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、次のページの「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」については、ご覧のとおりでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございますが、「(1) 管理者が行ったアンケート調査の結果」でございます。

「①アンケート調査の実施内容」ですが、8 月の 1 か月間、利用者 149 人を対象にアンケート用紙を配布し、131 人から回答を得ました。質問項目は、回答者の属性、営業時間、利用案内の分かりやすさ、利用料金など 15 項目でございます。

その他として、8 月のアンケートとは別に、受付に意見箱を常設し、年間を通して利用者意見の収集を行っております。

「②調査の結果」ですが、「ア 回答者の属性」では、男女別は、男性が 30%、女性が 70% でございます。年代別は、10 代以下が 59% と過半数を占めております。利用施設は、アイススケート場が 55%、温浴施設が 29% であります。利用頻度は、週 3 回以上が 38%、週 1、2 回程度と年 5、6 回程度がともに 13% でございます。居住地域は、市内が 51%、その他県内が 38% でございます。

「イ 営業時間」は、「満足」の割合が 95.4%。「ウ 利用案内の分かりやすさ」は、「満足」が 94.7%。エからクの各種利用料金では、「満足」の割合がおおむね 80% 前後でございます。なお、利用料金は、近隣のスケートリンクよりも安価な料金を設定しております。「ケ 館内設備・備品の使いやすさ」は、「満足」の割合が 96.2%。「コ 館内の清潔さ」は、「満足」が 90.8%。「サ 施設の利用手続」は、「満足」が 98.4%。「シ 教室の充実度」では、「満足」の割合が 84.4% となっています。「ス レストラン・売店」では、「満足」の割合が 79.4%。「セ スタッフの対応」では、「満足」の割合が 93.9% となっております。「ソ 施設全体の満足度」としましては、「満足」の割合が 97.7% となっております。

次に、「③主な意見、苦情と対応」については、アダルト教室に中級クラスを設けてほしいという要望がございました。これにつきましては、平成 28 年度に改めて中級クラスというものを開設したところでございます。

また、荷物置き場を増やしてほしいという要望につきましては、要望に応えまして、フリールームに荷物置き場を設置いたしました。

次のページをご覧ください。「(2) 市に寄せられた主な意見、苦情」でございますが、施設外壁の「アクアリンクちば」という文字型のネオンの看板の一部が夜間点灯しないという指摘を受けました。これにつきましては、28年の3月に修繕を実施済みでございます。

続きまして、「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も管理運営の基準や事業計画書への適合状況は「良好」となっております。

次に、「5 市による評価」でございますが、人件費、修繕費や施設管理費等の増加により最終的な赤字を計上したものの、収入はわずかに計画値を上回っております、そういうこと、また、利用者アンケートが施設全体の満足度97.7%となっており、良好な運営が行われていること、おおむね管理運営の基準、事業計画書どおりの実績、成果があったと認められることから、評価は「A」といたしております。

次に、「履行状況の確認」でございますが、仕様・提案どおりの実績、成果が認められたことから、すべての項目において2点の評価を与えております。合計で48点、平均点は2点でございます。

説明は以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して意見交換を行いたいと思います。

こちらの指定管理者である株式会社パティネレジャーの計算書類等には不開示情報である法人等情報が含まれているものと判断されますので、千葉市情報公開条例第25条ただし書の規定により、ここからの会議は非公開といたします。

なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等に関する意見交換については、再び公開といたします。

傍聴人の方がいらっしゃいますようですが、恐れ入りますが、一度退席をお願いします。また呼んでいただけるんですよね。じゃあお願いします。

(傍聴者 退室)

○横山部会長 よろしいでしょうか。

それでは、公認会計士でいらっしゃる織戸委員より、指定管理者の財務状況等に関して計算書類等を基にご意見いただきたいと思います。よろしくお願いします。

(財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○横山部会長 じゃあちょっと取りまとめをお願いいたします。

本指定管理者の財務状況につきましては、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、財務状況は良好であり、自己資本比率が高いことや、売上げも増加しており、長期的に見ても安定していると判断できるということで、倒産、撤退等のリスクはないと判断されるということでおろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 では、これを本部会の意見とします。ありがとうございました。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、または改善を要する点等に関する意見交換については、公開といたしますので、傍聴人の

方をご案内してください。

(傍聴者 入室)

○横山部会長 よろしいでしょうか。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等について、指定管理者評価シートを基に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。質問の機会ともさせていただきます。何かご意見等ございますでしょうか。

どうぞ。

○織戸委員 質問ですが、「指定管理者評価シート」についての質問です。7-1の1ページ目、「(3) 収支状況」、「②支出実績」の管理費、これにつきましては、先ほどご説明がありましたが、計画額3,600万に対して決算額4,500万でした。計画比125.2%、これも高いです。その理由は、ここに書かれているように、経年劣化の修繕ですか備品の購入だということなんですが、これ、我々経理屋から見ますと、経費見積りで25%も上振れをしたというのはかなり大きな数字かと思うんです。これに対して、ちょっと揚げ足をとるような言い方になってしまいますが、7-1の4ページ目の「(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力」、これ、思っていたより管理費用がかかったということなんですが、施設、備品の維持管理の構築物、建築設備、備品等の保守管理、これの評価が「2」ということになっていまして、また、「(4) 管理経費の縮減」、支出見積りの妥当性、これも計画どおりに予算が執行されているか、「2」となっています。かなり支出見積りが、経費が上振れをしてしまったのに、この二つが「2」というのはいかがなものでしょうかということで、ちょっとご意見をお伺いしたいのですが。

○横山部会長 妥当性についてですか。

○織戸委員 妥当性についてですね。はい。

○横山部会長 お願いします。

○安藤スポーツ振興課長 見積りの妥当性というところでございますが、今回、本年度につきましては、計画時点から突発的な事情による変更が生じたというものでございます。例えば清掃費用に関して、業者から施設の汚れについて指摘がありまして、清掃回数を、頻度を上げようという努力をした。月1回ワックスだったのを2回に増やしましようと、そういう努力をしていただいたり、あと、製氷ですね、氷。氷のところももっときれいにしてほしいということなので、製氷をじゃあ回数を増やしましょうということで、平成27年度は製氷の回数、これを増やした。そのためにジェットアイス等の消費量が増えたというので、利用者の声に応じて計画外のものを努力していただいたというところのものですので、我々はその辺はマイナス評価はしておりません。

○織戸委員 分かりました。ありがとうございます。

○横山部会長 いかがでしょうか。市としては、特にご意見、変更する予定はないということですよね。はい。

○織戸委員 了解いたしました。

○横山部会長 問題なしですか。ただ、どうなんでしょうね。この会社の企業の規模と、あと多分、製氷ではトップ企業ということで、もうちょっと堅実な予算見積りしていただいたほうが。

○織戸委員 そうですね。

○横山部会長 ですよね。それも可能、能力もあるわけですよね。

○織戸委員 月に1回を2回にしたということであれば、次回の見積りからはそれを反映させるということですね。

○安藤スポーツ振興課長 そうでございます。

○横山部会長 今後の意見としてはそういう形で。

○織戸委員 そうですね。

○横山部会長 新期間、次期以降はしていただくということで。

○織戸委員 はい。今回サービスの精度を上げたのであれば、それに見合った予算を立ててください。

○横山部会長 そういう意見。

○織戸委員 はい。

○横山部会長 ありがとうございます。

ほかにご意見等ございますでしょうか。

どうぞ、谷藤委員。

○谷藤委員 利用者ニーズに関してなんですけれども、8月にアンケートをしたということで、まあよかったですというのと、いろいろ要望は出てて、全部が全部ではありませんが、できる限りの対応という形ですが、一つは、結構細かな要望がすごくリストでばつとあったので、それはもっと丁寧に対応してほしいなという要望が一つあります、もう一つは、これは8月に調査していて、もちろんオールシーズン使える施設ではありますが、冬場のほうがたくさん人が入ってくるので、そちらのほうでも調査をかけていくといいのかなというふうに思いました。

○横山部会長 更なる利用者ニーズの把握に努められたいと、そういうご意見のこと。

○谷藤委員 はい。

○横山部会長 そういうご意見ということで。

関連して、私のほう、7-1のアンケートの結果ですけど、調査の結果の「シ 教室の充実度」で、「非常に不満」というのが3.3%ということで出ていたり、これはレストラン、売店、もともとここは厨房施設がないところですけれども、「非常に不満」というのが出ていますので、更なる改善、特に教室なんかに関しては、更に何か創意工夫をする余地があろうかと思いますので、更なる充実を図っていただきたいというふうに申し上げたいと思います。

ほかにご意見等ございますでしょうか。

内山委員、何かありますか。

○内山委員 これはこの金額で例えばそんなに大きな問題はないかなと思ってますので、一生懸命やられているなど。

○横山部会長 おおむね良好な感じがされているという。

○内山委員 ええ、そういうことですね。

○横山部会長 ほかにございますか。よろしいでしょうかね。

(なし)

○横山部会長 じゃあちょっと取りまとめを。

委員の皆様からさまざまご意見いただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点などの主な意見といたしましては、おおむね良好な施設運営が行われていると考えられますが、サービス内容の見直しに併せて、収支の計画額、内容を適切に反映するように努められたいということ、スケート教室に関する意見などのアンケート内容を踏まえて、更なる利用者ニーズの把握、充実に努められたいなどがございました。これを本部会の意見とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは、これらを踏まえて、千葉アイススケート場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくことになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するということでご了承いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございました。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

それでは、次に、千葉市民ゴルフ場について、施設所管課よりご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、資料8-1をお願いいたします。千葉市民ゴルフ場の「平成27年度指定管理者評価シート」になっております。

まず、「1 基本情報」ですが、指定管理者は千葉市民ゴルフ振興共同企業体で、指定期間は平成20年10月23日から平成30年3月31日までとなっております。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」は指定管理事業及び自主事業でございます。

「(2) 利用状況」につきましては、利用者数は2万9,382人で、対前年度比111.4%でございます。

「(3) 収支状況」でございますが、「①収入実績」につきましては、この市民ゴルフ場につきましても、独立採算制のため、指定管理委託料はございません。利用料金収入は1億2,013万8千円で、計画額の103.4%。自主事業は1,479万4千円で、計画額の131%となっております。これは、教室、コンペ等への参加者数が増加したこと及びカード等のレンタル利用料金収入が増加したこと等によるものでございます。収入の合計は1億3,493万2千円で、計画額の105.8%でございます。

次に、「②支出実績」でございますが、人件費は5,866万6千円で、計画額の116.6%です。これは主に非常勤職員の時給の増加とコース管理に係る職員を1名増員したことによるものでございます。事務費は3,172万円で、計画額の102.6%。管理費は2,040万6千円で、計画額の70.1%となっております。これは肥料、薬品、資材等のコスト削減及び修繕費の減少によるものでございます。自主事業は694万6千円で、計画額の132.8%でございます。これは、教室参加者数の増加に対応するため、レッスンを担当するプロゴルファーの勤務日数が増加し、その給料が増加したことによるものでございます。納付金、960万5千円です。これによりまして、支出の合計は1億2,734万3千円で、計画額の102.4%でございます。

「③収支実績」ですが、758万9千円の黒字となっています。

次のページをお願いいたします。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」については、ご覧のとおりでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございます。

「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」でございます。「①アンケート調査の実施内容」ですが、平成27年の10月1日から10月4日まで4日間、平成27年11月6日から10日までの5日間の計2回実施いたしております。各回220人、計440人に回答をいただきました。質問項目は、各回ともに、回答者の属性、傾向、満足度、総合的な満足度についてでございます。

「②調査の結果」でございます。初めに、1回目のアンケートについてご説明をいたします。

「ア 回答者の属性」では、男女別は、男性168人、女性が41人でございます。年代別は、40代が30%、50代が20.9%。居住地は、千葉市在住が52.3%、市外在住が43.5%でございます。

「イ 回答者の傾向」では、利用頻度は、10回以上が50.8%で過半数を占めております。予約方法では、インターネット予約が50.2%、電話予約が26.3%でございます。認知媒体は、友人・知人の紹介が112人、公式ホームページは50人でございます。

「ウ 管理運営の満足度」でございます。整備状況、フロント・スタッフ、スタート・マーシャルスタッフ、サービスについて、「満足」「やや満足」の合計がおおむね90%を超えてございます。

「エ 総合的な満足度」におきましても、「満足」「やや満足」が98.6%と高い評価を得ております。

次のページの2回目のアンケートでございます。

「ア 回答者の属性」では、男女別では、男性157人、女性が42人でございます。年代別では、50代が25%、40代が17.7%。居住地は、市外在住が48.2%、千葉市在住が45%。

「イ 回答者の傾向」でございますが、利用頻度は、10回以上が45%、4回から9回が20.9%でございます。予約方法は、インターネットが41%、電話予約が34.5%。認知媒体では、友人・知人の紹介が108人、公式ホームページが47人でございます。

「ウ 管理運営の満足度」では、整備状況、フロント・スタッフ、スタート・マーシャルスタッフ、サービスについて、「満足」「やや満足」がおおむね90%を超えております。

「エ 総合的な満足度」におきましても、「満足」「やや満足」が99.5%、高い評価を得ております。

次に、「③主な意見、苦情と対応」でございます。

クラブハウス内にもっと休憩用の椅子、テーブルを設置してほしいという意見につきましては、クラブハウス内の休憩スペースを拡大いたしまして、テーブル、椅子の数を増加させました。

乗用カートだけではなく、手引きカートにも緊急連絡先を記載するべきという意見につきましては、すべての手引きカートに緊急連絡先を記載したシールを張りつけることとい

たしました。

「(2) 市に寄せられた意見、苦情」については、27年度はございませんでした。

次のページをお願いいたします。「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も管理運営の基準や事業計画書への適合状況は「良好」となっております。

次に、「5 市による評価」でございます。評価は「A」といたしております。理由としては、利用促進のため、新規割引制度を導入したほか、接遇の改善や利用者要望へのきめ細かい対応を行った結果、利用者数が増加し、施設供用開始以来最高の利用者数となったこと、収支においても施設供用開始以来最高額の黒字となったこと、利用者アンケートの結果、利用者満足度が2回分の平均で99%を超えており、良好な運営が行われていると認められるということから、総合的な評価としては、おおむね管理運営の基準、事業計画書どおりの実績、成果があったと評価しております。

次に、履行状況ですが、仕様・提案どおりの実績、成果が認められたことから、ほとんどの項目で「2」と評価しております。

「3」と評価した項目が2項目ございますので、説明をいたします。

次のページ、「(4) 管理経費の縮減」のうち、収入見積りの妥当性の小項目、料金収入は計画どおりかと普及啓発事業・自主事業収入は計画どおりか、ここについて「3」としております。利用料金収入は計画どおりかについては、利用促進策に積極的に取り組みまして、実績が計画比103.4%と上回ったことに加えまして、供用開始以来初の黒字となった昨年を更に上回る利用料金収入を上げたことを評価したものでございます。

次に、普及啓発事業・自主事業収入は計画どおりかの項目につきましては、教室やコンペ等による収入が増加したことで、実績が計画比で131%と大幅に伸びたことを評価しております。

したがいまして、合計は52点で、平均は2.1点となります。

説明は以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等について意見交換を行いたいと思いますが、先ほどと同様に、ここからは非公開とさせていただきます。傍聴人の方は、恐れ入りますが、一時退席をお願いします。

(傍聴者 退室)

○横山部会長 よろしいでしょうか。

それでは、指定管理者の財務状況等について、計算書類等を基に、織戸委員からご意見をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報（法人等情報）が含まれているため、表示していません。)

○横山部会長 よろしいでしょうか。委員の皆様から意見をいただきましたが、財務状況についての意見としましては、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、企業体を構成する法人の1社について、財務内容に改善傾向は見られるものの、一部、流動比率などに不安定な要素があることなどから、注視すべき事項があるものの、事業継続が直ちに困難になるとまでは考えにくく、直ちに倒産、撤退等のリスクはないとの判断されます。なお、引き続き注視していくことが必要と考えられます。こういうような

ことになるかと思いますが、これを本部会の意見とすることによろしいでしょうか。
(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございます。

では、次に行う指定管理者の施設運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点などに関する意見交換については公開といたします。

(傍聴者 入室)

○横山部会長 よろしいでしょうか。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等について、指定管理者評価シートを基に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見等、ご質問等ございますでしょうか。

じゃあ私のほうからちょっと感想と、所管課に対する質問になるのですけれども、今回の管理運営の実績としては、高評価をしてよいのではないかなというふうに思っております。利用人数ですけど、111%増ということで頑張っていらっしゃると、収入について、自主事業等についても増加しているということと、あと管理費の削減、これ、恒常的なものではないとは伺いましたけど、これは年度評価をしておりますので、ちょっと長期的な視点とは別に、この年度をきっちりやっぱり評価してあげなければいけないのではないかなど、そういう感想です。

それを踏まえると、市による評価というのが非常に控え目なような気がするんですけれども、「3」をついている項目もありますけれども、例えば8-1の5ページの「(3) 施設管理能力」という中で、例えば施設設備の維持管理ですけれども、保守管理の項目、「2」となっていますけど、経費を相当節減したことであれば、年度評価としては「3」つけてもよさそうな感じもするのと、あと、その下の普及啓発事業の効果的な実施であるとか、さらに実施シートについても何か「3」つけてもよさそうな気がするんですね。それに関してちょっとご意見いただければと思いますが。あまり指定管理者の努力の成果ではないというふうに評価されるのだったら、それはそれで。

お願いします。

○安藤スポーツ振興課長 ご指摘のとおりの部分も確かにあります、「3」という評価もあり得るのかなとは思ったんですが、今までずっと赤字継続でございまして、今までの実績がどうだったのかというのを振り返ったときに、通常レベルというんですかね、期待されるレベルの下のほうであったものが真ん中より上に来たのかなというふうに我々は考えています。今まで「2」の評価をしていたんですが、「2」の中でも期待されるところ、達してはいるんですが、ようやくという部分もございましたので、これが普通の状態になっているのではないかというふうに辛口の評価を我々としてはしております。

これを本年度、27年度、この評価を見まして、次回、これよりも上がってくらうでありますと、我々としてもそれなりの評価をしていきたいというふうに思います。

○横山部会長 長期的にはやっているということでしょうかね。分かりました。ただ、私、さっき申し上げたように、年度評価として、委員会としてはまた別途評価してあげてもいいのではないかというふうにも思います。

ご意見等ございますか。

谷藤委員、いかがですか。

○谷藤委員 全体的にはよくなっているなとは思っています。ゴルフ業界的に男女の状況がちょっと私も分かっていないんですが、何かアンケートをとったときが余り女性の声を聞いてないというか、対象が、たまたまこうなのかもしれないんですけども、実際、利用者数のまとめたところは男女がないんですが、何かもう少し細かいスクールのデータとかを見ますと、結構女性もいっぱい参加されているみたいで、コンペとかはちょっと男女差あるのかなという感じがしますが、何かそこの女性の声を聞いてもいいのかなという、違うかどうかもちょっと分からないんですが。

○横山部会長 それはあれですかね、女性の。

○谷藤委員 ニーズを把握するところで。

○横山部会長 女性の利用普及に努めていただきたいというご意見になりますかね。

○谷藤委員 ちょっとそこが、利用の状況がどうかというところが、例えば8-3の何ページ目かの、すぐの営業の実施状況の表は男女別ではないので分かんないんですが、後ろのほうのスクールとかを見ますと結構同じぐらいだったりするので、利用状況そのものか違うのか分からないんですが、ニーズを把握しているところが余り吸い上げてないのでという。

○横山部会長 何だろうな。まさに女性のニーズの把握にも努めていただきたいと、そういうご意見でしょうか。

○谷藤委員 はい。

○横山部会長 小川委員。

○小川委員 今、女性の話、出ましたけども、レッスンプロが女性なんですよね。それから女性がかなり増えたということを聞きました。

○谷藤委員 すごい多いなという気はしました。

○小川委員 そうですね。評判がいい。

それと、65歳以上ですか、これ非常に割引料金にしてからリピーターが増えて、これを見ますと10回以上の方が大体半分以上ということで、10回以上といいますと月1回平均というところですから、かなりよく経営努力したんじゃないかと思います。

○横山部会長 その点に関して、すみません、今、お話を出ましたけれども、結局、利用料金下げてリピーターが増えたという事実があるんでしょうかね。実績として客観的にそういうことなのか。

○安藤スポーツ振興課長 そのとおりでございます。高齢者割引につきましては、市の施策として65歳以上の方は20%割引というようなものを打ち出して、ご協力をいただいて、確かに高齢者の方も伸びております。あとは、季節割引、夏期の割引ですか、回数割引、このようのものを作ることによって、確実にお客さんは増えてきたという評価をしております。

○横山部会長 因果関係があるということですね。

○安藤スポーツ振興課長 そういういたキャンペーンというんですか、施策を実施することによって、集客増につながっているということでございます。

○横山部会長 じゃあその点、評価した上で、更なる利用者増に努めていただきたいということ、そういうことですよね。

○小川委員 それともう一つは、あれですね、ここだけじゃ、共通ですけど、70歳以

上ですとゴルフ場利用税がかからないんですよね。だからその分またプラスに作用している。

○横山部会長 それが指定管理者の努力のたまものであるならば。

○小川委員 そうですね。

○横山部会長 内山委員、何かご意見。

○内山委員 大体、今、小川委員が言われたとおり、今まで25年、26年、その辺は市民ゴルフ場というのはどっちかいうときゅうきゅうなところがあったような気がします。27年度は急にいろんな、あそこの管理者がいろんなサービスされて、利用人数が増えていている。これはなかなかよくやってくれたなと思っております。だからこういうことをまた続けていって、このゴルフ場がますます増えることを期待したいなと思っております。

○横山部会長 織戸委員、何か。先ほど会計の見地から、2年前でしたっけ、相当やばいんじゃないかっていうのが共通の認識だったかと思いますが。

○織戸委員 内山委員と同じで、これから期待したいなと。横山部会長もおっしゃったように、利用者数が増えて利益が出たということで、感想としてとてもいいことだと思いますので、ぜひこのまま、これ以上頑張っていただきたいと思います。

○横山部会長 ありがとうございます。

何で8年目に、こういうふうに変わったんでしょうか。お尻に火がついた。何かそういう、今期、ぐっと上がったきっかけというか、今までですから、私申し上げたように、20年からですから、7年間は管理していたわけですから。

○内山委員 料金が下がったんだよね、そして割引になった、料金。

○安藤スポーツ振興課長 分析はできないのですが、やはり個々プレーでありますので、カートを手引きでやっていくということ、最近、ウォーキングブームなどがありまして、健康を意識した中で、健康のためにゴルフというものがこの制度上維持していいのかなと。こういうことですと乗用カートになりますので、普通のハーフプレーで手軽にできる。あと、今、ゴルファーの間の口コミですけれども、グリーンの状態、フェアウェイの状態、非常にいいというのがかなり口コミで浸透してまいりまして、どこかの大会に出る前に練習でゴルフを、そういったゴルファーが、かなり県内ゴルファーが増えているようでございます。これは私もあるゴルファーから協会から聞いた話ですが、そんな状況でございます。

○横山部会長 アンケート結果でも結局、友人、知人の紹介というのが過半数を占めていて、そういうまさに口コミの効果がようやくという感じでしょうか。知る人ぞ知るというところかなと。

○内山委員 多少そういうのが浸透してきたんじゃないでしょうかね。

○横山部会長 逆に広告媒体としては、もう頼るところ、市政だよりとかホームページに限られちゃうから、そうじゃない、そういう口コミで広がっていくということが、何でしょうかね、よくなってきたきっかけということでしょうか。

ほかにご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○横山部会長 じゃあ取りまとめをお願いして。

よろしいでしょうか。ただいま委員の皆様からさまざまご意見いただきましたが、施

設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点などの主な意見としましては、まず、自主事業による収入増や管理費の節減などにより収支が黒字に転換するなど、指定管理者の努力については評価できる。これらの努力について、単年度の実績のみならず、引き続き良好な施設運営となるよう努められたいというような意見がございました。これを本部会の意見とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市民ゴルフ場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、やはり私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございました。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

それでは、最後に、議題3の「その他」についてですが、事務局から何かございますでしょうか。

お願いします。

○青木文化振興課長 今後の予定についてご説明させていただきます。

本日、委員の皆様よりいただきましたご意見につきましては、部会長から指定管理者選定評価委員会の会長への報告とし、その後、会長から市長宛に委員会の意見として答申をいたします。

この委員会の答申を受けまして、市は、委員会の意見を指定管理者評価シートに記載して、9月上旬までに市のホームページに掲載、公表し、指定管理者へも通知いたします。

また、本日の部会の会議録等、委員会の会長からの答申につきましても、市ホームページで公開することとなります。公開の時期が決まり次第、委員の皆様にはご連絡をさせていただきます。

なお、本日の部会の会議録については、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局からのご説明について、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

ちょっと話が違ってしまうかもしれませんけど、次回部会、いつごろ予定されますかね。大体で。

○文化振興課 10月26日に予定しております。

○横山部会長 分かりました。

この時は、任期の関係で、またメンバーは代わってしまうんでしょうかね。

○青木文化振興課長 そうです。

○横山部会長 分かりました。

○小川委員 10月26日。

○文化振興課 を予定して。

○横山部会長 まだ決定ではないので。頃ということで、また引き続きよろしくお願ひします。

そのほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、皆様のご協力によりまして、本日の議事はすべて終了いたしました。ありがとうございました。事務局にお返しします。

○渡邊文化振興課長補佐 長時間にわたり、慎重なご審議、どうもありがとうございました。

以上をもちまして平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回スポーツ部会を閉会いたします。

本日は、お忙しい中、どうもありがとうございました。